



[対象]

小・中学校

全教科

科学が好きな子どもを育てる

教育実践 論文募集

2022年度 ソニー子ども科学教育プログラム **小・中学校向け**

「科学が好きな子どもを育てる」ための教育実践と計画を
レポートする論文に応募してみませんか

子どもたちの生き生きとした学びと主体的な探究の姿を通して、個性ある実践、
他校の参考になる授業についてまとめた論文を募集しています。

応募いただいた全ての学校に助成などの支援をしています。

応募しやすくなりました

全教科
対象

ページ数が
減りました
15ページ～20ページ

Web応募

インターネットで簡単応募

郵送不可・応募にはユーザー登録が必要です

全応募校に
ソニー製品を
贈呈!



公益財団法人
ソニー教育財団

※2022年度から応募規定が変更になりました。詳細は中面をご覧ください。

募集内容

主題

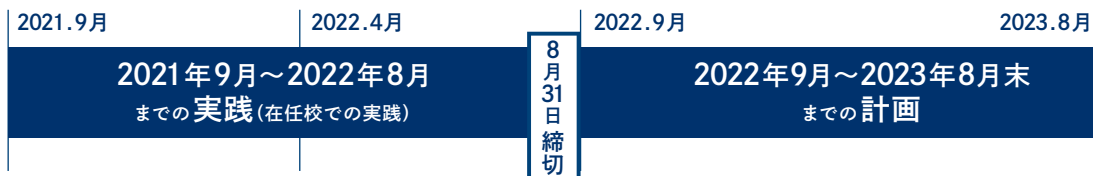
「科学が好きな子どもを育てる」

内容

主題にもとづく教育実践と計画

2021年9月から2022年8月までの実践と、2022年9月から2023年8月末までの計画

・記述できる実践は在任校での実践に限ります。(前任校での実践は対象外です。)



全教科対象

理科・生活科以外の
教科も対象です

募集要項

受付期間

2022年8月1日(月)～2022年8月31日(水) 15時 送信完了分まで

応募資格

国・公・私立の小学校、中学校(特別支援学校等を含む)

- ・義務教育学校、中等教育学校を含みます。
- ・学校全体、あるいは学年・学級・教科部会単位で応募できますが、応募は1校から1件のみです。
- ・2021年度の最優秀校は、今年度はご応募いただけません。

助成内容

最優秀校 教育助成金300万円とソニー製品^{*1}
優秀校 教育助成金50万円とソニー製品^{*1}
奨励校 教育助成金10万円とソニー製品^{*2}
子ども科学賞 全応募校にソニー製品^{*2}

^{*1}…4K液晶テレビ、デジタルカメラ VLOGCAM、ビデオカメラなどから1セット。

^{*2}…デジタルスチルカメラ、ICレコーダーなどから1つ。

(上記ソニー製品は2021年度実績です。2022年度は変更になる場合があります。)

応募方法

論文をPDFファイルにして、当財団ウェブサイトの応募フォームよりお送りください。
応募の際に必要な情報は(論文以外)、フォームに直接入力していただきます。

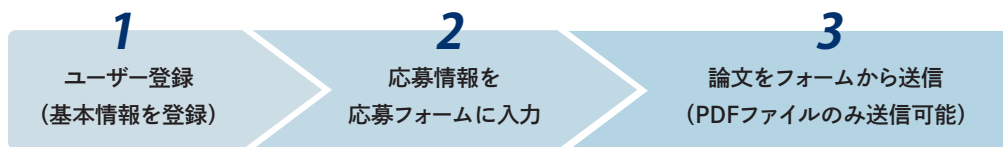
- ・応募には当財団ウェブサイトのユーザー登録が必要です。
(ユーザー登録は学校ごとではなく応募者が個人で登録)
- ・応募完了後、送信した情報の変更はできません(論文の差し替え含む)。
- ・内容に不備がある場合は受理できません。また、論文は返却しません。

応募URL



<https://www.sony-ef.or.jp/program/science.html>

応募の流れ ユーザー登録フォーム・応募フォームは2022年8月1日公開予定



ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

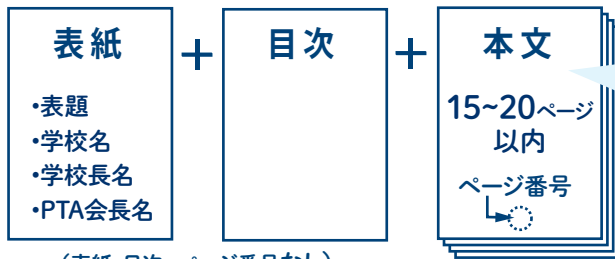
- ・論文、学校名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。
- ・論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。
- ・応募情報(論文含む)は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。
- ・ご応募いただく論文は、関連するすべての権利(本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない)を、応募者が保有しているものに限りします。

作成規定

A4

A4判
本文のみページ番号を付記

「本文」について



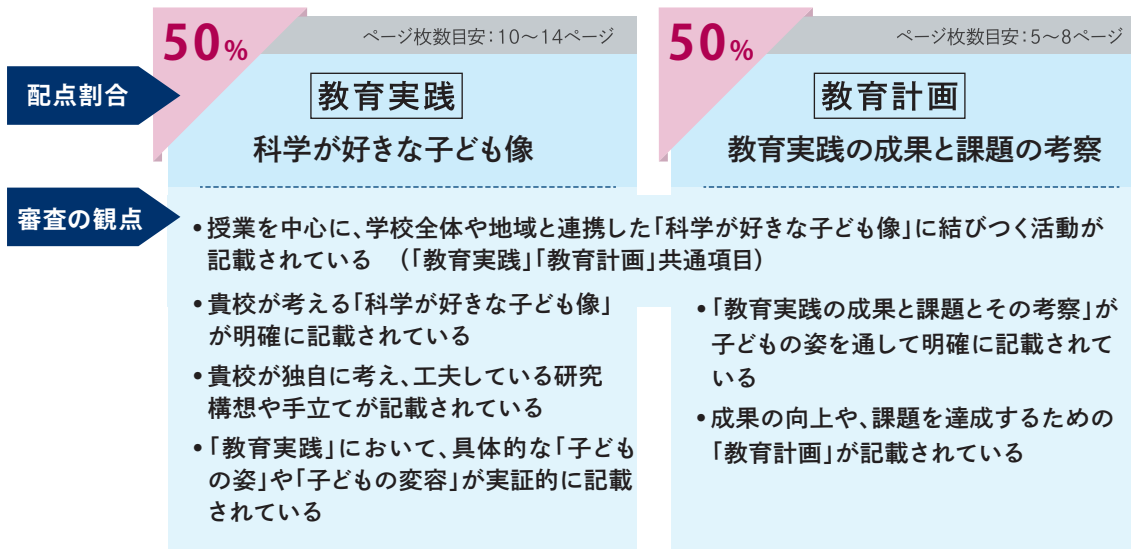
(表紙・目次はページ番号なし)

- 【ページ数】 15~20ページ以内
- 【文字サイズ】 [本文] 10.5ポイント以上
[図表] 8ポイント以上
- 【行間目安】 図表なしで1ページ40行以内となる行間
- 【ページ番号】 本文のみページ番号付記
- 【実践・計画】 教育実践には「年・月」を明記
教育計画には「年度」を明記
- 【参考・引用文献】 本文中に明記
- 【研究代表者名・執筆者名】 最終ページに明記

作成にあたって

- ・「対象期間内の実践」は在任校での実践に限ります。
- ・過去の応募論文からの転載(文章・写真等)は、減点あるいは審査対象外とします。これらの転載が必要な場合は、本文中に論文応募時の年度を記載してください。
- ・すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外とします。
- ・本文中の図表などで読み取れないものは(サイズが小さい、画像が不鮮明等)は、審査対象外とします。

審査



上位入選候補校については、審査の過程で実践状況の確認のため訪問する場合があります。

審査委員長	御手洗康	学校法人共立女子学園 学園長 理事長、元文部科学事務次官
審査委員	渥美雅子	弁護士
	清原洋一	学校法人秀明学園 秀明大学 学校教師学部 教授
	山下修一	国立大学法人千葉大学 教育学部 理科教育 教授
	西谷清	公益財団法人 ソニー教育財団 元理事長

入選発表

2023年1月中旬以降 発表予定。応募校には郵送で結果をお知らせします。

成果発表

最優秀校と優秀校には、以下の成果発表を行っていただきます。

- 最優秀校
- ・論文の全文公開(写真を含む)
 - ・2023年度に「子ども科学教育研究全国大会」を開催
- 優秀校
- ・論文の全文公開(写真を含む)
 - ・2023年度開催「子ども科学教育研究全国大会」にてポスターセッションで発表

「子ども科学教育研究全国大会」については、当財団のウェブサイトをご覧ください。

今年度からの変更点を
まとめてチェック!

ここが
変わりました!

point
1

対象教科

全教科対象

理科・生活科以外の教科も
対象です

point
2

作成規定

ページ数

15~20ページ

本文行間

40行以内

図表なしで1ページ40行以内となるように

point
3

応募方法

Web 応募のみ

郵送不可

応募にはユーザー登録が必要
(学校としてではなく応募者個人での登録)

point
4

締切時間

8月 31日 15時

当日中ではありません

15時の時点で送信完了できるよう
余裕をもってお送りください

科学が好きな子どもを育てる実践に取り組んでいます

2021年度最優秀校



横浜市立立野小学校（神奈川県）



刈谷市立朝日中学校（愛知県）

2021年度優秀校

福島大学附属小学校（福島県）

諏訪市立中洲小学校（長野県）

富士見町立富士見中学校（長野県）

刈谷市立刈谷南中学校（愛知県）

北九州市立木屋瀬小学校（福岡県）

鹿児島大学教育学部附属小学校（鹿児島県）

ソニー教育財団の活動 — 60年以上に亘るソニーの教育助成 —

ソニーの創業者井深大の教育への思い「戦後の日本の復興のためには理科教育が最も重要である」という考えに基づき、1959年に「ソニー理科教育振興資金」を開始しました。その活動は子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展しました。現在は小・中学校の教育実践、幼稚園・保育所・認定こども園の「科学する心」を育む保育実践の募集を行い、さらには2021年度から小・中学校の教職員を対象とした「教育方針と授業計画」を新設し、教育助成金とソニー製品を贈呈しています。また、先進的な教育を行う全国の先生方、学校・園を応援して参ります。



小・中学校の先生への支援

教科を問わず、「将来を担う子どもたち」に必要な資質や能力を考え、「科学が好きな子どもを育てる」活動を行っている小・中学校の教員およびその団体に対しての支援を行っています。

また、優れた実践や研究を教育関係者に広く公開する研修会や、さまざまな分野の専門家・見識者のオンライン講演会を開催し、それらを通じて、全国の教員が学び合い、磨き合う環境づくりをサポートしています。



子どもたちへの支援

科学への興味を深めるため、ソニーグループの技術者が講師となって行う、小・中学生、高校生を対象にした「ソニーものづくり教室」の開催を支援しています。

乳幼児の「科学する心」ネットワーク

「科学する心」の視点で乳幼児期の子どもの「ワクワク・ドキドキ」を見つめながら、さまざまな地域の仲間と保育の実践や悩みを共有し合い、学び合う活動を行っています。会員専用Facebookグループでは大勢のメンバーが繋がり、保育について語り合っています。「明日の保育をともに考える」仲間に、あなたもありませんか？

<https://www.sony-ef.or.jp/kagakukokoronet/>

保育実践紹介

保育実践論文の入選園の事例をテーマごとにまとめた冊子「実践事例集」と、実践をキーワードやカテゴリで検索できるウェブサイト「保育のヒント」では、オススメの保育実践を紹介しています。

